

Active Directory移行 ソリューションの比較: Quest®対ネイティブツール

この文書では、Quest の Active Directory 移行ソリューションと Microsoft Active Directory Migration Tool (ADMT) バージョン 3.2 の比較を行います。Quest のポートフォリオは、多数の重要な特長を含む、複雑な AD 移行プロジェクトを実行する際の多くのメリットを提供しています。

この文書は 2022 年 9 月に行われた比較調査の結果を基に作成しています。

Active Directory の Quest 移行製品を使用する主なメリット:

- **あらゆる移行シナリオをサポート** — Quest は信頼関係のない移行をサポートし、Azure 限定の環境への移行を実施し、拡張機能のための他の Quest 製品とシームレスに統合できるため、より複雑な移行シナリオを実行できます。
- **完全なプロジェクト管理機能を提供** — SaaS オプションや Web ベースのコンソールにより、豊富なプロジェクト管理機能を利用できます。主な特長には、完全なロールバック、複数エージェントアーキテクチャ、タスクベースの委任、リソースの分散処理（権限更新）があります。
- **完全なディレクトリ移行を提供** — ユーザ、グループ、コンピュータ、ボリューム、プリンタ、コンタクト先、組織単位（OU）、ネットワーク接続形態（サイト、サブネット、サイトリンク）、ディレクトリ権限など、あらゆるタイプのオブジェクトを移行できます。
- **広範囲にわたるリソース処理を提供** — エンタープライズ構成によく使用されるリソースについて、処理できる種類が他社製品に比べて非常に幅広く（SQL、Systems Management Server (SMS) / System Center Configuration Manager、Exchange、SharePoint）、ワークステーション、ノートパソコン、およびサーバの包括的なリソースアップデートも行うことができます。
- **効率的なクリーンアップを提供** — セキュリティ識別子（SID）の履歴など、移行後のリソースにある移行元の権限を削除することで、これまでに移行が行われた証拠をすべてクリーンアップすることができます。
- **完全な共存環境を確保** — ディレクトリの同期を継続的に行うことで、エンドユーザと管理者への移行中の影響を最小限に抑えます。
- **リモートワークステーションのエンドツーエンド移行をサポート** — リモートワーカーに影響を与えることなく、リモート接続されたワークステーションの処理と移行をもれなく行うことができます。
- **BitLocker のサポートを提供** — BitLocker で暗号化されたワークステーションをシームレスに移行できます。復号化や暗号化の必要はありません。

サポートする移行のタイプ

機能	QUEST	ADMT	詳細
フォレスト間	●	●	QUEST: オブジェクトを非破壊的にクローンするため、オープンセットで移行できます。
フォレスト内	●	●	ADMT: オブジェクトを破壊的に移行するため、クローズドセットで移行する必要があります。SID履歴が必要です。
信頼関係のないフォレスト間	●	○	QUEST: 信頼関係を作成せずに移行できます。 ADMT: 信頼関係を作成する必要があります。
Azure Active Directory	●	○	QUEST: ディレクトリ同期のソースとターゲットとしてAzure ADをサポートしています。また、Azure ADのターゲット環境にデバイスを移行できます。 ADMT: ソースまたはターゲットとしてAzure ADをサポートしていません。

プロジェクト管理

機能	QUEST	ADMT	詳細
一元管理	●	●	QUEST: 一元管理を維持しながら複数のサーバの移行に対応できます。 ADMT: 一元管理を維持するには単一のインスタンスが必要です。
拡張性の高いアーキテクチャ	●	○	QUEST: 複数のサーバが移行処理をサポートし、あらゆる技術要件に対応できます。 ADMT: 一元管理を維持するには単一のインスタンスが必要で、アーキテクチャの拡張には追加のインスタンスを導入する必要があります。
Software as a Service (SaaS)	●	○	QUEST: SaaSとオンプレミス両方のオプションがあります。 ADMT: SaaSのオプションがありません。
プロジェクト対応型のユーザインターフェイス	●	○	QUEST: プロジェクトベースのユーザインターフェイスを、Webベースのコンソールで提供します。 ADMT: タスクベースのユーザインターフェイスです。
タスクの委任	●	○	QUEST: その製品内でタスクベースの委任が可能です。 ADMT: 移行を委任するには、ADでネイティブの権限委任が求められます。
統計	●	○	QUEST: 移行処理についての統計詳細をポータル表示します。 ADMT: この機能はありません。

サポートと製品のアップデート

機能	QUEST	ADMT	詳細
24x7製品サポート	●	○	QUEST: 24時間365日の製品サポートとWebベースのコミュニティを提供し、トラブルシューティングや移行中に発生する問題をサポートします。
Webベースのフォーラム	●	●	ADMT: サポートはWebベースのフォーラムのみです。
製品のアップデート	●	○	QUEST: 高頻度で製品がアップデートされ、追加の機能を提供する他、新しいテクノロジーやオペレーティングシステムをサポートします。 ADMT: 前回リリースされたアップデートは2010年です。Microsoftでは、新しいオペレーティングシステムの移行を実行する際は自己責任で行い、環境により作業内容も異なると述べています。

● フルサポート ● 一部サポート ○ 未対応

Active Directoryのサポート対象の環境

機能	QUEST	ADMT	詳細
Windows 2000	●	○ ¹	<p>QUEST: Windows 2000の機能レベル以上であれば、サポート対象のすべてのAD環境を双方向で移行できます。移行元ディレクトリと移行先ディレクトリの機能レベルは異なっていても構いません。</p> <p>ADMT: アップデートにより、新しくリリースされたWindowsバージョンをサポートするためのバージョンチェック機能が削除されました。移行元ディレクトリと移行先ディレクトリの機能レベルは同じである必要があります。</p>
Windows Server 2003	●	●	
Windows Server 2008	●	●	
Windows Server 2008 R2	●	●	
Windows Server 2012	●	●	
Windows Server 2012 R2	●	●	
Windows Server 2016	●	●	
Windows Server 2019	●	●	
Windows Server 2022	●	●	

¹ Windows 2000をサポートするにはADMTバージョン3.1が必要です。

AD移行とハイブリッドAzure AD移行のオペレーティングシステムのサポート

機能	QUEST	ADMT	詳細
サーバ・オペレーティング・システム			
Windows Server 2008 & 2008 R2	●	●	<p>QUEST: 最新のWindowsオペレーティングシステムをすべてサポートします。</p> <p>ADMT: Windows 2012以降では、最新のアプリケーションとプロファイルの移行はテストされていないと公表されています。</p>
Windows Server 2012 & 2012 R2	●	●	
Windows Server 2016	●	●	
Windows Server 2019	●	●	
Windows Server 2022	●	●	
Server Core OS	●	○	
ワークステーション・オペレーティング・システム			
Windows 7	●	●	<p>QUEST: 最新のWindowsオペレーティングシステムをすべてサポートします。</p> <p>ADMT: Windows 8.1以降はアップデートされていないと公表されています。</p>
Windows 8 & 8.1	●	●	
Windows 10	●	●	
Windows 11	●	●	

Azure AD移行のオペレーティングシステムのサポート

機能	QUEST	ADMT	詳細
サーバ・オペレーティング・システム			
Windows 10	●	○	<p>QUEST: ADおよびハイブリッドAzure ADからAzure ADへのワークステーション移行をサポートします。</p> <p>ADMT: Azure ADから、およびAzure ADへのワークステーション移行はサポートしていません。</p>
Windows 11	●	○	

● フルサポート ● 一部サポート ○ 未対応

ディレクトリの移行

機能	QUEST	ADMT	詳細
ユーザオブジェクト	●	●	QUEST: 移行中に多数の属性を変更できます。また、GAL同期が必要な場合は、ユーザとグループをコンタクト先オブジェクトとして移行できます。
グループオブジェクト	●	●	ADMT: 一部の属性については変更には制限があります。
コンピュータオブジェクト	●	○	QUEST: グループメンバーシップを維持するために、必要に応じてコンピュータオブジェクトを移行できます。 ADMT: コンピュータが移動した場合にコンピュータオブジェクトを移行します。
プリンタオブジェクト	●	○	QUEST: プリンタオブジェクトを移行できます。 ADMT: プリンタオブジェクトは移行できません。手動で移行する必要があります。
ボリュームオブジェクト	●	○	QUEST: ボリュームオブジェクトを移行できます。 ADMT: ボリュームオブジェクトは移行できません。手動で移行する必要があります。
コンタクト先オブジェクト	●	○	QUEST: コンタクト先オブジェクトを移行できます。 ADMT: コンタクト先オブジェクトは移行できません。手動で移行する必要があります。
OUオブジェクト	●	○	QUEST: OUオブジェクトとその委任（権限）を移行できます。 ADMT: OUは移行できません。
パスワードの移行	●	●	QUEST: ソフトウェアを追加せずにパスワードを移行できます。また、パスワードポリシーをミラーリングせずに既存のパスワードすべてを正常に移行できます。 ADMT: Password Export Serverバージョン3.2を別途使用することができますが、ドメインコントローラーへのインストールが必要です。
ロールバック	●	●	QUEST: フォレスト間とフォレスト内の移行両方のセッションすべてをセッションベースで取り消すことができます。 ADMT: フォレスト間の移行および最後に実行したセッションのみ取り消すことができます。フォレスト内の移行については、オブジェクトが破壊的に移行されるため、ロールバックできません。

共存環境

機能	QUEST	ADMT	詳細
ディレクトリの同期	●	○	QUEST: 属性レベルでのディレクトリ同期機能があり、移行期間中、変更内容を継続的にレプリケーションします。双方向の属性やパスワード同期のオプションも利用できます。 ADMT: 移行期間中に変更内容をレプリケートするには複数のセッションが必要となり、日々の移行処理に手順が別途追加されます。
パスワードの同期	●	○	QUEST: 移行ジョブとは別に、独立してほぼリアルタイムのパスワード同期を実行できます。 ADMT: パスワードはアカウント移行ジョブと同時でなければ移行できません。
Exchangeの有効化	●	○	QUEST: Exchangeの移行に備えて、オブジェクト（メールまたはメールボックス）を有効化できます。 ADMT: Exchangeの有効化には対応していません。
Office 365	●	○	QUEST: Exchangeに関連した複数の属性を認証フォレストに同期し、メールボックスをOffice 365に直接移行できます。 ADMT: この機能には対応していません。

● フルサポート ● 一部サポート ○ 未対応

リソース処理の詳細

機能	QUEST	ADMT	詳細
ファイルシステム	●	●	QUESTとADMTは、いずれもサーバおよびワークステーションにあるこれらのリソースを処理できます。
ローカルグループ	●	●	
プリンタ	●	●	
レジストリ	●	●	
共有	●	●	
ユーザプロファイル	●	●	
ユーザ権限	●	●	
サービス・ログイン・アカウント	●	●	QUEST: Resource Update Managerを使用して、サービス・ログイン・アカウントをリソース処理タスクの一環としてアップデートできます。 ADMT: サービス・ログイン・アカウントのみをアップデートするには、別途処理を行う必要があります。
ローミングプロファイル	●	●	QUEST: ローミングプロファイルが保存されている場所で、そのプロファイルを処理することができます。 ADMT: ワークステーションにあるローミングプロファイルを処理します。
ターミナル・サービス・プロファイル	●	○	QUEST: Resource Update Managerを使用して、ターミナル・サービス・プロファイルをアップデートできます。 ADMT: プロファイルを手動で再構成する必要があります。
スケジュール設定されたタスク	●	○	QUEST: Resource Update Managerを使用して、スケジュール設定されたすべてのタスクのログインをアップデートできます。 ADMT: この機能には対応していません。
COM+/DCOM	●	○	QUEST: Resource Update Managerを使用して、すべてのCOM+/DCOMタスクの権限をアップデートできます。 ADMT: この機能には対応していません。
IIS	●	○	QUEST: Resource Update Managerを使用して、アプリケーションプールのログインをアップデートできます。 ADMT: この機能には対応していません。
分散リソースのアップデート	●	○	QUEST: Resource Update Managerを使用して、複数のホストに実施できます。 ADMT: この機能には対応していません。
リモート処理	●	○	QUEST: エージェントレス（リモート）でリソース処理できます。 ADMT: この機能には対応していません。
再解析ポイント処理	●	○	QUEST: オンデマンドのOneDriveファイルを含め、再解析ポイントを処理できます。 ADMT: この機能には対応していません。
委任	●	○	QUEST: 内部委任モデルによってタスクベースの委任を実現し、タスクをチームの他の移行エンジニアに委任することができます。 ADMT: ネイティブの委任モデルをサポートしています。すべてのドメイン管理者が使用できますが、タスク委任機能はありません。
ファイアウォールがアクティブなワークステーション/サーバ	●	○	QUEST: 既存のソフトウェア導入ツールを使用して、エージェントを導入できます。エージェントがあらゆるリソース処理タスクをプルするため、再設定が必要なファイアウォールはありません。 ADMT: エージェントをプッシュする必要があるため、各ファイアウォールを再設定する必要があります。
委任タスクの処理モデル	●	○	QUEST: ツール設定によって定義されたセキュリティコンテキストで実行される通りに、移行の全タスクを完了できます。 ADMT: タスクの実行に必要なアクセス権を運用担当者が保持する必要があります。
BitLockerで暗号化されたシステム	●	○	QUEST: 移行の運用担当者が余分な労力をかけることなく、BitLockerで暗号化されたホストの移行を完了することができます。 ADMT: この機能には対応していません。

リソース処理のサポートプラットフォーム

機能	QUEST	ADMT	詳細
Windows Server	●	●	「オペレーティングシステムのサポート」のセクションを参照してください。
Windowsワークステーション	●	●	「オペレーティングシステムのサポート」のセクションを参照してください。
ネットワーク接続ストレージ (NAS) /CIFSサーバ	●	○	QUEST: コマンド・ライン・ユーティリティを使用して、Windowsベースの権限をサポートするMicrosoft以外のオペレーティングシステムもサポートします。 ADMT: NAS/CIFSはサポートしていません。権限の取り出し、変換、および再適用を手動で行う必要があります。
Exchange 2000～2019	●	○	QUEST: Exchange Processing Wizardを使用して、Exchangeリソース内にあるすべての権限をアップデートできます。 ADMT: Exchangeの権限はサポートしていません。権限の取り出し、変換、および再適用を手動で行う必要があります。
SQL Server	●	○	QUEST: SQL Processing Wizardを使用して、SQL Server内にあるすべての権限をアップデートできます。 ADMT: SQLの権限はサポートしていません。権限の取り出し、変換、および再適用を手動で行う必要があります。
SharePoint Server	●	○	QUEST: SharePoint Processing Wizardを使用して、SharePoint Server内にあるすべての権限をアップデートできます。 ADMT: SharePointの権限はサポートしていません。
SMS/System Center Operations Manager (SCOM)	●	○	QUEST: SMS Processing Wizardを使用して、SMSまたはSCOM内にあるすべての権限をアップデートできます。 ADMT: この機能は手動で実行する必要があります。
Active Directory	●	○	QUEST: セキュリティ記述子、および信頼関係にあるドメインのグループメンバーシップを移行、変換できます。 ADMT: セキュリティ記述子は移行できません。すべての権限を手動で付与する必要があります。
リモートワークステーション	●	○	QUEST: サポート担当者の介入を必要とせずに、VPNに接続されたワークステーションを移行できます。ワークステーションへのアクセスに使用されたキャッシュ済みのアカウントは維持されます。 ADMT: 対応していません。

クリーンアップ

機能	QUEST	ADMT	詳細
移行元ユーザの無効化	●	●	QUEST: 移行元ユーザの無効化、権限のクリーンアップ、およびMMADを適用したSID履歴の個別クリーンアップ (OUごと) を行うことができます。ネットワークセキュリティを保護するため、オブジェクトのSID履歴の属性は移行後にクリーンアップする必要があります。 ADMT: 移行元ユーザの無効化と、移行後のリソースにある移行元の権限のクリーンアップを行うことができますが、SID履歴のクリーンアップはできません。
権限のクリーンアップ	●	●	
SID履歴のクリーンアップ	●	○	

● フルサポート ● 一部サポート ○ 未対応

Quest について

Quest はますます複雑になる IT 環境において、新たなテクノロジーのメリットを実現にするソフトウェアソリューションを提供します。データベースとシステムの管理から Active Directory と Microsoft 365 の移行および管理、そしてサイバー・セキュリティ・レジリエンスまで、Quest は次の IT 課題を今すぐ解決できるよう、お客様をサポートします。世界中の 13 万社を超える企業と Fortune 500 の 95 % が、次のエンタープライズイニシアチブのプロアクティブな管理と監視を実現し、複雑な Microsoft の課題に対する次のソリューションを見つけ、次の脅威に事前に対処できる Quest を信頼しています。Quest Software は今「次」に備えます。詳細については、www.quest.com をご覧ください。

© 2022 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

本書に記載されている専有情報は、著作権によって保護されています。本書に記載されているソフトウェアは、ソフトウェアライセンスまたは機密保持契約のもとに提供されます。本ソフトウェアは、当該契約の条項に従う場合に限り、使用または複製できるものとします。本書のいかなる部分も、Quest Software Inc. の書面による許可なく、複製および録音を含む電子的または機械的ないかなる形式や手段においても、あるいはいかなる目的においても、複製または転載することはできません。

本書に記載されている情報は、Quest Software 製品の概要説明を目的としたものです。本書によって、あるいは Quest Software 製品の販売に関連して、明示または黙示にかかわらず、禁反言やその他の方法によって生じる、いかなる知的所有権に対するライセンスも許諾されません。当該製品のライセンス契約で指定されている約款に記載されている場合を除き、Quest Software はいかなる責任も負うものでは

なく、商品性、特定目的への適合性、または非侵害性に関する黙示的保証を含め（ただしこれらに限定されない）、その製品に関連する一切の明示的、黙示的、または法令による保証を行いません。Quest Software は、いかなる場合においても、本書の使用または使用不可能に起因する直接損害、間接損害、結果的損害、懲罰的損害、特別損害、または付随的損害（営業利益の損失、ビジネスの中断、情報の紛失を含むがこれらに限定されない）について、仮にそれらの発生の可能性を知らされていたとしても、一切の責任を負いません。Quest Software は、本書の内容の正確性または完全性に関する保証または表明を行わず、仕様および製品の説明に対する変更をいつでも予告なく行う権利を有します。Quest Software は、本書に記載されている情報を更新する確約を一切行いません。

特許

Quest Software は、当社の先進的なテクノロジーを誇りにしています。この製品には、特許および出願中の特許が適用される場合があります。この製品に適用される特許の最新情報については、当社の Web サイト (www.quest.com/jp-ja/legal/) をご覧ください。

商標

Quest および Quest のロゴは、Quest Software Inc. の商標および登録商標です。Quest の商標の一覧については、www.quest.com/jp-ja/legal/trademark-information.aspx をご覧ください。その他すべての商標は各所有者に帰属します。

本書の使用に関して不明な点がありましたら、以下までお問い合わせください。

www.quest.com/JP-JA/company/contact-us.aspx